

はじめにお読みください

uniPaaS RichClient Server V1



Magic uniPaaS®

梱包内容

- パッケージを開封されたら、ご使用になる前にまず、パッケージに収められたものがすべて揃っているか、ご確認ください。不足しているものや不良なものがありましたら、すみやかにお求めになった販売店へお申し出くださるようお願い致します。
- 「Magic uniPaaS V1使用許諾契約書」は本製品のご使用を許諾する法的な契約書です。本製品を使用する前に必ずお読みいただき、大切に保管してください。

なお、お客様の購入商品によって梱包内容が異なりますので、商品分類をご確認ください。

梱包部品	商品分類
	新規
Magic システムディスク(CD-ROM)	1
Magic uniPaaS V1 使用許諾契約書	1
「はじめにお読みください」シート(このシート)	1
インストールガイド	1冊
「主な注意事項と制限事項」シート	1

目次

uniPaaS RichClient Server V1 導入時の注意事項.....	2
Magic uniPaaS V1 セミナーのご案内.....	4
UDC (User's Data Center) のご案内.....	5
ライセンス登録時の注意事項.....	6
ソフトウェア・メンテナンス.....	7
テクニカル・サポートのご案内.....	8
Magic uniPaaS V1 有料サポートのご案内.....	10
Magicユーザーズ・フォーラム.....	11

uniPaaS RichClient Server V1 導入時の注意事項

● Magic uniPaaS V1製品－機能概要

主な機能	uniPaaS Studio	uniPaaS Client	uniPaaS Enterprise Server	uniPaaS RichClient Server
アプリケーション開発	○			
クライアント機能				
Magic Client	○	○		
Webクライアント(ブラウザ)			○	×
Magicリッチクライアント	△※1	×	×	○
サーバ機能				
インターネット(Webマージ)	△※1		○	△※7
Webサービス	△※1		○	△※7
アプリケーション・パーティショニング	△※1		○	△※7
Magicリッチクライアント	△※1		×	○
コールリモート(サーバ呼び出し)				
インターネット(http関数)	○	○	○	○※4
Webサービスコール	○	○	○	○※4
アプリケーション・パーティショニング	○	○	○	○※4
ライセンス				
ライセンス単位	ユーザ数	同時アクセスユーザ数	スレッド数	同時アクセスユーザ数、及びスレッド数※6
ライセンス管理	ライセンスファイル	ライセンスファイル	ライセンスサーバ	ライセンスサーバ
ライセンス累計		×	○	○
エンジン単位でのライセンス上限指定			MAGIC.INIで指定 ※2	MAGIC.INIで指定 ※2、※3

※1 MRBやインターネットリクエストに対するアクセスは、1度起動されたらエンジンに対して2000回までの制限があります。

※2 Magic.IniのMaxConcurrentRequests で指定。

※3 Magic.IniのMaxConcurrentUsers で指定。

※4 クライアント側からでなくサーバ側(uniPaaS RichClient Server)からコールされます。

※6 同時アクセスユーザ数は、起動されたセッション数(コンテキスト数)でカウントされています。

同一PC上で、複数のタスクを起動(並行実行)した場合は、以下の留意事項があります。

・5セッションまでは、1ユーザのライセンス消費となります。

・6セッション以降は、1セッション起動毎に、1ユーザずつ加算されて消費されていきます。

(例)5セッションー1ユーザ、6セッションー2ユーザ、7セッションー3ユーザ

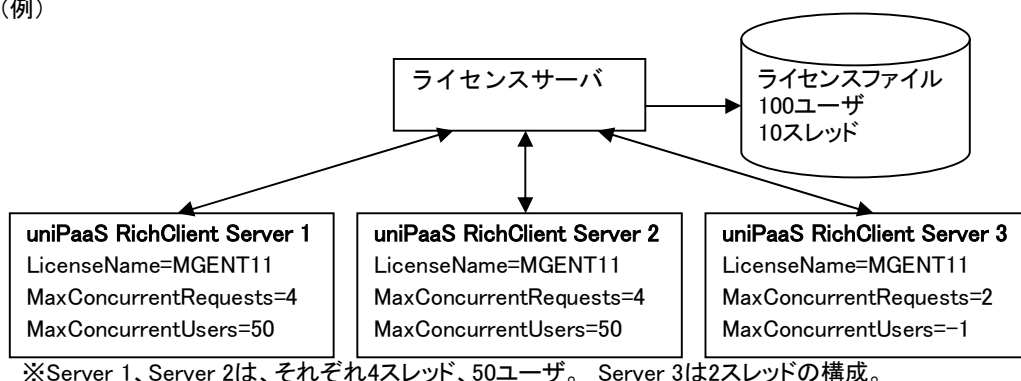
・複数タスクを並行実行した場合は、ライセンスは追加消費されます。

・プロキシ構成等のためにクライアントIPが正しく認識できない構成の場合は、1セッションで1ユーザのライセンス消費となります。

※7 Magicリッチクライアントは、uniPaaS Enterprise Server V1のライセンス(スレッド数=ユーザ数の1/10 小数第1位で四捨五入)が提供されています。リッチクライアントタスク及びリッチクライアントタスクからコールされたバッチタスクは、uniPaaS Enterprise Serverのスレッドを使用して処理されます。

スレッド数に余裕がある場合は、uniPaaS Enterprise Serverとして、非同期バッチ処理、インターネット(Webマージ)等に使用することが可能です。(例のuniPaaS RichClient Server 3 参照)

(例)



●インストール方法

- インストールガイドの「uniPaaS RichClient Server V1 のセットアップ」を参照してインストールを行ってください。
- バックグラウンド起動(MAGIC.INI の DeploymentMode =B)の場合にのみマルチスレッド環境となり、指定されたスレッド/ユーザ数が有効になります。

●インストール時の注意事項

- 製品選択について
ご購入になられた製品のみセットアップが可能です。セットアップを起動すると、セットアップダイアログが表示されます。ここで「uniPaaS RichClient Server V1」を選択してください。
- ユーザ登録とライセンス登録
インストールが終了した直後のuniPaaS RichClient Server V1 は、体験版として動作いたします。本来の機能を有効にするには、ユーザ登録によりライセンスコードを取得し、ライセンス登録を行う必要があります。

ユーザ登録の方法は、①UDCによる登録・ライセンス発行、②Webでユーザ登録、③メールでユーザ登録を行う3種類があります。

①UDC(User's Data Center)

事前にUDCユーザID・パスワードを登録することにより、インターネット経由でライセンスコードのWeb発行サービスをご利用いただけるようになります。ライセンス発行のみでなく、購入製品の確認や、情報更新も、弊社営業時間に関係なくご利用可能です。

▼詳細はこちらをご覧ください▼

<http://www.magicsoftware.co.jp/user/reg/userreg.html>

▼UDC▼

<http://apps2.magicsoftware.co.jp/udclink/>

※「UDC (User's Data Center)のご案内」の章もご参照ください。

②Webでユーザ登録

Webでユーザ登録情報を記入します。後程、ライセンス情報をメールで返信いたします。

▼詳細はこちらをご覧ください▼

<http://www.magicsoftware.co.jp/user/reg/univ1userreg.html>

③メールでのユーザ登録

ユーザ登録情報をメールで送っていただきます。後程、ライセンス情報をメールで返信いたします。

詳細は、CD-ROMの uniV1Registration.txt を参照してください。

注意:

- インストールプログラムの起動(Setup.exe)で表示されるメニューの「ユーザ登録」に上記のリンクがあります。

ユーザ登録を行い、ライセンスコードを取得したら、ライセンスマネージャを起動してライセンス登録を行ってください。

ライセンス情報

ライセンスコード	: 使用許諾契約書に記述
Activation Key1	: 弊社Magicユーザ登録センターより発行したコード
Activation Key2	: 弊社Magicユーザ登録センターより発行したコード
シリアル番号	: 使用許諾契約書に記述
ユーザ登録名	: ユーザ登録時に記述したユーザ登録名

注意:

- ホストIDの変更(再発行)は、2回まで(合計3回発行)行うことができます。UDCの場合は、ホストID再発行の理由を選択する必要があります。Web登録、メール登録の場合は、最寄の営業所へご確認ください。

- ホストIDの選択

uniPaaS RichClient Server V1 は、ライセンスサーバを使用してライセンス管理され、ライセンスサーバは、PC特有のホストIDによりコピープロテクトされています。

ライセンス管理については、インストールガイドの「uniPaaS RichClient Server V1のセットアップ」のライセンス管理、又本シートの「ライセンス登録時の注意事項」を参照してください。

● READMEをご覧ください

'Readme.chm'には、マニュアルに記載されていない注意点や制限事項など重要な情報が記載されていますので、必ずお読みください。

● マニュアルについて

Magic uniPaaS V1 のマニュアルは、ヘルプ・ファイル(CHM)、又はオンラインマニュアル(PDF)で提供されています。

オンラインマニュアルは、CD-ROMの Onlineディレクトリ内にあります。

PDF形式のマニュアルを見るためには、Acrobat Reader をインストールする必要があります。

リファレンスマニュアルは、ヘルプ・ファイル(.chm)でのみ提供しています。(PDFでの提供はありません)

リッチクライアント機能については、ホワイトペーパーの『インタラクティブなリッチクライアントの開発と実行』(Rich Client Methodology.pdf)も参照してください。

● バンドルDBMSについて

uniPaaS RichClient Server V1 には、DBMSはバンドルされていません。

Magic uniPaaS V1 セミナーのご案内

Magic uniPaaS V1 セミナーに関しては、弊社ホームページ

(<http://www.magicsoftware.co.jp/>)、又は最寄の営業所へお問い合わせください。

UDC(User's Data Center)のご案内

Magic eBusiness Platform V9/V9Plus および Magic eDeveloper V10、Magic uniPaaS V1 では、インストールの際に、弊社より発行するライセンスコードが必要です。お客様がブラウザを使用して、直接 V9、V10、V1 のユーザ登録・ライセンスコード取得ができる「UDC:ユーザズ・データ・センター」システムをご用意しております。又、V10/Magic uniPaaS V1 のサーバ製品においてはソフトウェアメンテナンスが導入されましたのでサイト管理者は UDC の使用が必須となります。是非 UDC のご登録を、お願い申し上げます。

UDCへの登録手順

- ① UDCのログイン画面の「UDCユーザIDの取得申請はこちらから」をクリックして取得申請を行います。

<http://apps2.magicsoftware.co.jp/udclink/>

※UDCの操作マニュアルも同サイトにアップされていますので、御使用ください。



- ② 弊社にて、お客様のユーザIDとパスワードの登録作業終了後、「登録完了通知」をメールにて送信致します。その際、ご担当者ごとに「お客様コード」を発番させていただきます。(お客様コードをすでに取得されているお客様は、短時間で処理が可能です。)
- ③ 登録完了通知を受信後より、UDCのご利用が可能となります。なお、UDCへのログインには、お客様コード、ユーザID、パスワードの3項目が必要となります。

UDCで現在ご利用頂ける機能

- Magic eBusiness Platform (V9/V9Plus)、Magic eDeveloper V10、Magic uniPaaS V1のユーザ登録・ライセンスコードの取得
- Magic eDeveloper V10、Magic uniPaaS V1 ソフトウェアメンテナンス管理(サイト管理者)
- ユーザ登録状況の照会 (V7~V10、Magic uniPaaS V1)
- パスワード変更、他

特長

- 弊社の営業時間や休日に関係なく、ユーザ登録とライセンス取得ができます。(基本的には24時間365日利用可能です)

注意事項

- UDCのご利用に際しては、128bit-SSL暗号化通信によりインターネットに接続するため、次のブラウザ環境が必要です。
 - ✓ Microsoft Internet Explorer 5.5 SP1 + Microsoft Internet Explorer 高度暗号化パック、及び完全互換の上位バージョン
- Magic Client V10、uniPaaS Client V1は、製品にライセンスコードが添付されていますので、ユーザ登録のみを行います。

ライセンス登録時の注意事項

ネットワークライセンス

サーバ製品 (uniPaaS Enterprise Server V1、uniPaaS RichClient Server V1) は、ライセンスサーバでライセンスを管理しています。ネットワークを介して一つのPCサーバでライセンス管理することも、個別のPCにライセンスサーバをインストールして管理することも可能です。

ネットワークライセンスのメリット

- ライセンス管理が一元管理できます。ライセンスの追加が容易にできます。

ネットワークライセンスのデメリット

- ライセンスサーバ、ライセンスサーバの PC、ネットワークがダウンすると動作できなくなる。

ライセンスサーバをインストールするPCは、信頼性の高いPC(例えばデータベースサーバ等)にすることを
お奨めいたします。

ユーザ登録申請

- ユーザ登録申請時のユーザ登録名は、半角英数字(0~9、A~Z、a~z)で行うようにしてください。
- ホストIDは、uniPaaS Enterprise Server V1、uniPaaS RichClient Server V1 利用時に必要な情報です。ホストIDは、ライセンスマネージャによって取得します。
必ず、ホストIDは、ライセンス管理に使用するライセンスサーバが動作するPC上で取得してください。
異なっている場合、ライセンスエラーとなりMagicは動作しません。
- ホストIDの変更(再発行)は、2回まで(合計3回発行)行うことができます。UDCの場合は、ホストID再発行の理由を選択する必要があります。
- 同じお客様コード、同じホストIDでサーバ製品を複数登録した場合は、累計されたライセンス数を使用することが可能です。(例えば、5ユーザを2本購入され、同じお客様コード、同じホストIDで登録した場合、累計された10ユーザのライセンスが発行されます。さらに5ユーザ版を追加登録すると15ユーザになります。)

ホストID(「Ethernet」)

- 「Ethernet」は、MACアドレスを使用していますので、DISKクラッシュ時においても、NICが破損しない限り、PCが復旧できれば、同じライセンス情報で使用することができます。
- V9/V9Plusでサポートしていた、ホストIDの「Ethernet以外」は、V10、Magic uniPaaS V1ではサポートされません。
- 同一システムでV9とV10及びV1、またはV9 PlusとV10及びV1を混在して使用することも可能です。その場合は、ライセンスファイルの内容をマージしてライセンスファイルを作成します。

コールド・スタンバイ

本番環境で動作しない状態でコンピュータシステムを多重化して信頼性を向上させる方式をコールド・スタンバイと言います。Magicエンジン自体は、ロードバランサーの機能にて容易に対応可能ですが、ライセンスを管理しているライセンスサーバに関しては、以下の注意が必要です。

- 障害が発生したとき人間が手動で切り替えを行うスイッチオーバーで使用する場合に限り、ソフトウェア使用許諾書の 許諾プログラム等の複製の (1) で記載されている「バックアップを目的とする複製」とみなし、ライセンスの追加購入の必要はありません。
- ライセンスコードは、UDCにて再発行の手続きを行います。(再発行理由は、「その他」にしてください) 動作を確認後は、ライセンスサーバPCの電源OFF、サービス(FLEXlm License Server)を停止する等の対応を行いライセンスサーバが動作しないようにしておきます。

スタンバイ・ライセンス

サーバクラスタ、仮想化技術等を使用して高可用性のシステムを構成し、フェイルオーバー(システム障害が発生したとき、自動的に冗長な待機系システムに切り換える機能)構成で使用する場合は、別途スタンバイライセンスが必要です。

ソフトウェア・メンテナンス

Magic uniPaaS V1は、ソフトウェア・ライセンス(ソフトウェアの使用権)に加え、ソフトウェア・メンテナンス(アップグレードの権利とテクニカル・サポート)が標準提供されます。

ソフトウェア・メンテナンスとは

ソフトウェア・メンテナンス有効期間中は、該当製品に関して以下のサポートを利用することができます。

- 有効期間中に出荷となった新バージョンやリリースへ自由にアップグレードすることができます。
- 新メジャーバージョン出荷時にはメディアをサイト(※)単位に1本ずつ無償でお送りいたします。
- テクニカルサポート: 製品のインストールや使用方法など運用環境に関して、Web経由で質問をすることができます。(開発関連に関するお問い合わせはできません。)

ソフトウェア・メンテナンス更新日

ソフトウェア・メンテナンス更新日の決定方法:

お客様のサイトで初回ご注文が出荷された日から1年後の翌月1日がソフトウェア・メンテナンス更新日として設定されます。ただし、最初のご注文の出荷日が1日の場合は1年後の同日がソフトウェア・メンテナンス更新日になります。

【例】

出荷日 2005/05/01 ソフトウェア・メンテナンス更新日:5月1日
出荷日 2005/05/02~31 ソフトウェア・メンテナンス更新日:6月1日

※ソフトウェア・メンテナンス更新日の設定

- ソフトウェア・メンテナンス更新日はサイトで共通なので、サイトごとに異なるソフトウェア・メンテナンス更新日を設定することはできません。
- サイトとはライセンスを管理・発注する単位で、同一法人、同一敷地内とします。

ソフトウェア・メンテナンス更新

ソフトウェア・メンテナンスは、事前に申請が無ければ、自動更新となります。

ソフトウェア・メンテナンス更新日にサイト内のソフトウェア・メンテナンス対象製品の全てを更新します。

追加購入された製品に対しては、ソフトウェア・メンテナンス更新日に次年度の不足分を追加して調整します。

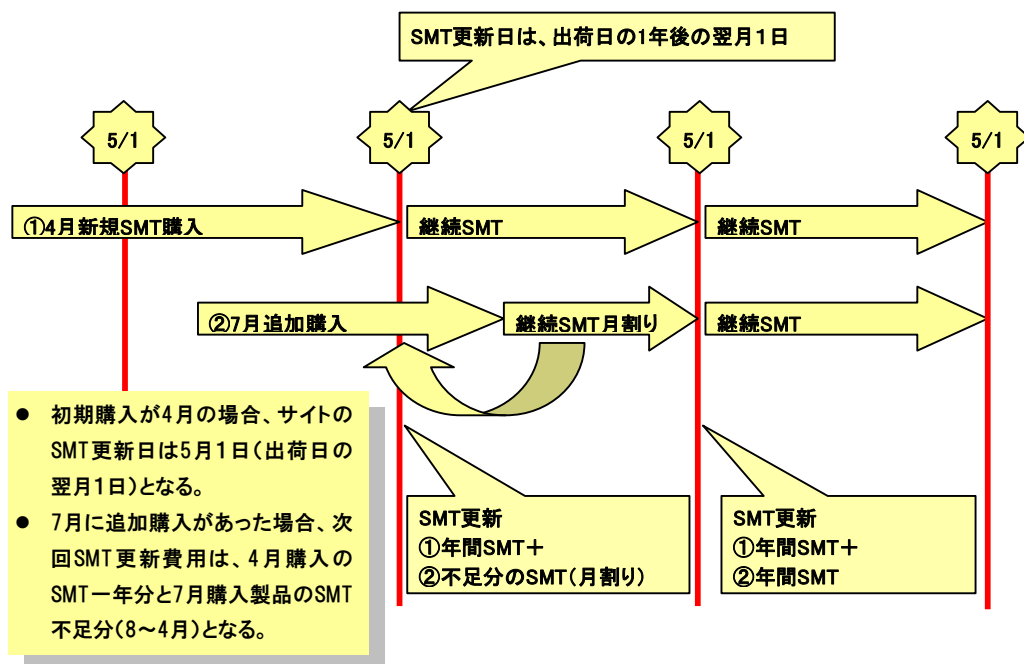
ソフトウェア・メンテナンスの非更新の場合:

- ソフトウェア・メンテナンスによるメジャーバージョンアップの権利を失います。
- ソフトウェア・メンテナンスのテクニカルサポートの権利を失います。
- サービスパック(アップデートモジュール)の適用が出来なくなります。

ライセンスコードの再取得:

メンテナンス更新日以降にリリースされたサービスパック(SP)等のモジュールを適用する場合、事前にライセンスコードの再取得が必要になる場合があります。詳細は、SPIに記載されたReadme等をご確認ください。

※新規購入は通常12ヶ月間のソフトウェア・メンテナンス期間が提供されますが、同一サイトでソフトウェア・メンテナンス対象商品があり、ソフトウェア・メンテナンスを更新しなかった場合は、ソフトウェア・メンテナンス更新日までとなります。



注：SMTはソフトウェア・メンテナンス

ソフトウェア・メンテナンス更新方法

ソフトウェア・メンテナンス有効期間満了前に、サイトご担当者様宛てに更新のご案内をお送りいたします。ご案内では、ご使用製品一覧と、ソフトウェア・メンテナンス料金明細を提供いたします。ソフトウェア・メンテナンス料金明細には、ソフトウェア・メンテナンスの対象製品名、数量、メンテナンス料金等が記載されています。

マジックパートナー(MSP)経由でご購入された場合は、MSPにご注文ください。

ソフトウェア・メンテナンス更新を行わず、後日に再度ソフトウェア・メンテナンス取得を希望する場合には、未契約期間の通常費用の2倍の費用を支払うことにより継続することが可能です。

テクニカル・サポートのご案内

サポート概要

uniPaaS RichClient Server V1 をご購入いただくと、ソフトウェア・メンテナンスが標準提供されます。ソフトウェア・メンテナンス有効期間中は、最新バージョンやリリースをご使用いただくことができるとともに、充実したサポートをご利用いただくことができます。安心してソフトウェア製品を導入、ご使用いただくことができます。

ソフトウェア・メンテナンスで提供するサポートでは、uniPaaS RichClient Server V1を使用した開発者の方を対象に、製品のインストールや使用方法に関するサポートを提供いたします。お客様の利用部門の方を対象としたものではありません。

なお、ソフトウェア・メンテナンスは各ソフトウェア製品のプログラム・サービス終了日を延長するものではありません。ソフトウェア・メンテナンスで提供するサポートは該当製品のプログラム・サービス終了日まで提供し、それ以降は提供いたしません。

ソフトウェア・メンテナンスのサポートで提供される内容

- MSJのWeb サポート・サイト(以下「い～さぼ」という)からのお問合せ受付
 - 「い～さぼ」における各種技術情報の提供
 - 通常時間帯(10:00 - 17:00)でのFAX、E-Mail受付
 - 製品のインストールや使用方法に関する日常的、かつ短時間の質問に対するサポート
 - 製品に起因する障害に対するサポート(ログ取得、ログ解析など)
 - お問い合わせ数の制限はありません。
- ※サポート適用範囲については、「ソフトウェア・メンテナンスのサポート適用範囲」をご確認ください。
※日本語でのサポートのみとなります。
※土曜、日曜、祝祭日、年末年始及びお盆等の Magic サポートセンター休業期間中は除きます。

ソフトウェア・メンテナンスのサポート適用範囲

uniPaaS RichClient Server V1 のソフトウェア・メンテナンスが有効な製品に対して、次のサポートを提供します。

- 製品のインストールや使用方法に関する日常的、かつ短時間の質問に対するサポート
- 現行版の製品のプログラム・コードに起因する障害に対するサポート
- 製品資料の解釈のサポート
- 修正策の情報提供

次のようなサポートはサポート範囲に含みません。

- アプリケーションの設計と開発手法
- Magic 以外の開発環境で許諾プログラムを使用された場合。
- ご契約製品に起因しないと思われる問題の資料解析
- お客様の作成コードの解析や調査
- お客様の要望によるサンプルの作成
- パフォーマンス・データの分析やチューニング
- オンサイト・サポート

サポート・センターにお問合せいただく方法

問題の迅速な解決のために、サポート・センターにお問合せいただく前に、予めお問合せ内容に関する情報を収集、整理していただきますようお願いいたします。

Magicサポート契約ユーザ様

通常のMagicサポートの問い合わせ(「い～さぼ」)でお問い合わせください。
その場合、uniPaaS RichClient Server V1の製品シリアル番号を記載してください。

※Magicパートナー様がエンドユーザ様の代理でお問合せする場合は、エンドユーザ名、製品シリアル番号を記載してください。

Magicサポート非契約ユーザ様

E-MAILでの対応となります。

CD-ROMに添付されている `uniV1SupportSMT.txt` を使用します。

E-Mailアドレス : msj_support@magicsoftware.com

Magic uniPaaS V1 有料サポートのご案内

1. Magicサポートセンターを利用することができます。(Web、電話、FAX、メール)

名称	サポート概要
Windows10インシデントサポート	Windows版Magicのご質問を10インシデントまでサポートします。ネットワーク環境やRDBMSゲートウェイを使用した場合を含みます。
Windows20インシデントサポート	Windows版Magicのご質問を20インシデントまでサポートします。ネットワーク環境やRDBMSゲートウェイを使用した場合を含みます。
Windows30インシデントサポート	Windows版Magicのご質問を30インシデントまでサポートします。ネットワーク環境やRDBMSゲートウェイを使用した場合を含みます。
フルセット版30インシデントサポート	Magicのご質問(iSeries,UNIX含む)を30インシデントまでサポートします。ネットワーク環境やRDBMSゲートウェイを使用した場合を含みます。
アドバンスト サポート	Windows 30インシデントに加えて、複数サポート担当者、Hot Fixリクエスト等のサービスを提供します。
フルセット-アドバンスト サポート	フルセット版 30インシデントに加えて、複数サポート担当者、Hot Fixリクエスト等のサービスを提供します。
追加10インシデント	各基本インシデントを消化した場合のインシデントの追加用です。

2. リリース前のβ版や重要技術情報等が検索できます。
3. メールによるサポートニュース等の情報配信がされます。

<インシデント>

ご質問受付時に1インシデントが消費されます。但し、その質問が継続している間は同一の質問と考え、インシデントは消費されません。

サポート種類	金額／年間	金額／追加 10インシデント
Windows10インシデントサポート	¥100,000-(税込¥105,000円)	¥80,000-(税込¥84,000円)
Windows20インシデントサポート	¥150,000-(税込¥157,500円)	¥70,000-(税込¥73,500円)
Windows30インシデントサポート	¥200,000-(税込¥210,000円)	¥60,000-(税込¥63,000円)
フルセット版30インシデントサポート	¥300,000-(税込¥315,000円)	¥70,000-(税込¥73,500円)
アドバンスト サポート	¥300,000-(税込¥315,000円)	¥70,000-(税込¥73,500円)
フルセット-アドバンスト・サポート	¥400,000-(税込¥420,000円)	¥80,000-(税込¥84,000円)

サポート種類比較

	Windows 10/20/30 インシデント	フルセット 30インシデント	アドバンスト	フルセット アドバンスト
基本インシデント数	10/20/30	30	30回/年間	30回/年間
プラットフォーム	Windows	Windows、UNIX、 System i(AS/400、 iSeries)	Windows	Windows、UNIX、 System i(AS/400、 iSeries)
サポート担当者数	1名	1名	最大3名	最大3名
Hot Fix リクエスト	—	—	年間最大3回	年間最大3回

※サポート契約の詳細内容は、ホームページを参照してください。

テクニカルサポート (サポート契約のご案内)

<http://www.magicsoftware.co.jp/service/support/contract.html>

Magic ユーザーズ・フォーラム

Magicユーザ様の情報交換、相互扶助の場として、**Magicユーザーズフォーラム** が公開されています。 Magic uniPaaS のみだけでなく、Magic jBOLTのフォーラムもあり製品を越えた、相互の活発な情報交換の場としてご活用いただければ幸いです。

<http://www.magicsoftware.co.jp/forum/>

■アナウンス

このフォーラムは、マジックソフトウェア・ジャパン株式会社からのアナウンス、およびモデレータから会員の皆さんへの連絡、情報提供等に使用されます。ただし、会員の皆さんがこのフォーラムに発言（記事の投稿）をすることはできません。

■テクニカルディスカッション

- Magic uniPaaS V1
このフォーラムでは、Magic uniPaaS V1 全般に関する話題を取り扱います。
- Magic V10
このフォーラムでは、Magic V10.x 全般に関する話題を取り扱います。
- Magic V9/V9Plus
このフォーラムでは、Magic V9/V9Plus 全般に関する話題を取り扱います。
- Magic V4～V8
このフォーラムでは、Magic V4～V8 全般に関する話題を取り扱います
- Magic jBOLT
このフォーラムでは、jBOLT 全般に関する話題を取り扱います。
- 周辺ソフトウェア
このフォーラムでは、データベース(DB2 UDB、ORACLE、SQLServer、Pervasive PSQL等)や、ReportsMagic、Magic Optimizer など、周辺ソフトウェアに関する話題を取り扱います。

●マジックソフトウェア・ジャパン株式会社 営業所

本社 〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-25-3 あいおい損保新宿ビル14F TEL: 03-5365-1600 FAX: 03-5365-1630	大阪営業所 〒530-0047 大阪市北区西天満3-5-10 オフィスポート大阪 TEL: 06-6360-3277 FAX: 06-6360-3278
札幌営業所 〒060-0012 北海道札幌市中央区北12条西23丁目-5 SDC北12条ビル 5F TEL: 011- 375-6112 FAX: 011- 375-6152	広島営業所 〒732-0811 広島市南区段原2-13-22 妻木ビル303 TEL: 082-506-0240 FAX: 082-506-0241
仙台営業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3丁目3番11号 Human青葉通ビル 9F TEL: 022-217-0376 FAX: 022-217-0378	福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-19 サンライフ第3ビル6階 TEL: 092-475-4892 FAX: 092-475-4800
名古屋営業所 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄5-19-31 T&Mビル 3F TEL: 052-249-9750 FAX: 052-249-9751	信越営業所 〒380-0824 長野県長野市南石堂町1259-11 リメイビル 2F TEL:026-227-5757 FAX:026-224-3572
岡山営業所 〒700-0971 岡山県岡山市野田4-7-18 TEL:086-241-1743 FAX:086-241-1405	